



研修初日(8.8)

①
まもなく研修がスタートします。研修生は、1都10県から県、市町村、森林組合、森林管理署等から集まります。



②
石澤尚史計画部長の開講挨拶で研修が始まりました。



③
続いて鈴木正勝利根沼田森林管理署長から演習地を含む管内概要について説明しました。



④
外部講師と林野庁講師の二人です。写真右:壁村秀水講師(株式会社森林環境コンサルタント)写真左:加藤昭広講師(林野庁整備課)



⑤
挨拶の後はすぐに講義がスタートです。「新たな路網の整備について」の講義です。森林整備には路網の整備が必要不可欠です。



⑥
使用する機械の性能を踏まえ、路網を計画する必要があります。



⑦
スライドで分かり難い事柄はDVDの映像を交えて説明します。



⑧
続いてはグループ演習です。班に分かれて作業をします。



⑨
演習の説明をする関東森林管理局澤井講師。今日は机上で路線の線形を検討し、明日は現地確認を行います。



⑩
各班とも熱心な議論が続きます。

研修2日目(8.9)



①
2日目は現地研修です。午前中は昨日図面で検討した路線の現地確認を行います。



②
班に分かれて現地を踏査し、質問等に答えられるよう講師も同行します。



③
机上で問題となった箇所をチェックします。



④
構造物の規格等を確認します。



⑤
帰路は全員でポイントとなる箇所を見て帰ります。研修生の質問には講師が答えます。



⑥
実際に現地を確認することで改良点等が見えてきます。



⑦
特に工作物は設置もメンテナンスも経費がかかることから、必要性について十分な検討が必要となります。



⑧
午後からは別の現場に移動です。



⑨
コンクリート土嚢を用いた工法。初めて目にしたようです。



⑩
沢の渡り方について他に方法がなかったのか検討しています。



⑪
法高を押さえるにはどうすればよ
いのか検討しています。

研修最終日(8.10)



①
あっという間に研修最終日となりま
した。
昨日の現地調査を振り返り、もう一
度、線形について考えを整理しま
す。



②
発表に向け最終チェックを行って
います。



③
各班から踏査結果を踏まえ見直す
べき事項等について発表します。



④
班によって様々な意見、考え方が
出てきました。



⑤
発表毎に、壁村講師、加藤講師か
らコメントをいただきました。



⑥
発表全体を通して酒井秀夫東京大
学教授から講評をいただきました。



⑦
発表後、壁村講師から線形の設計
に関するポイントについて説明が
ありました。



⑧
いよいよ最終の講義です。路網設
計上の留意点等についてのまとめ
です。



⑨
最後に記念写真です。